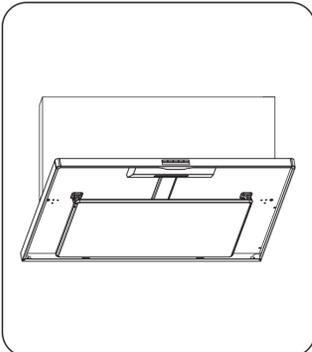


取付設置説明書

レンジフード シロッコファンタイプ

品番

＜スピナー式ファンタイプ＞	
S43CHZ1ML, S43CHZ1MR	600幅
E43CHZ1ML, E43CHZ1MR	600幅
S43CHZ2ML, S43CHZ2MR	750幅
E43CHZ2ML, E43CHZ2MR	750幅
S43CHZ3ML, S43CHZ3MR	900幅
E43CHZ3ML, E43CHZ3MR	900幅
＜ワンタッチ式ファンタイプ＞	
S45CHZ2ML, S45CHZ2MR	750幅
W45CHZ2ML, W45CHZ2MR	750幅
S45CHZ3ML, S45CHZ3MR	900幅
W45CHZ3ML, W45CHZ3MR	900幅



本書のイラストはS43CHZ3ML（左吐出仕様）を示します。各部の名前、取付設置方法は他の品番も同様です。

- この取付設置説明書をよくお読みのうえ、正しく取付設置してください。特に「安全上のご注意」は、取付設置前に必ずお読みいただき、安全に取付設置をおこなってください。取付不備などによる事故や損傷につきましては、保証の対象外となりますのでご注意ください。
- 取付設置後に、必ず動作確認をおこなってください。
- 取扱説明書は必ずお客様にお渡しし、使いかたを説明してください。
- 梱包材や残材は、「廃棄物処理法」に従って適切に処理してください。



9HZCS4201AMD4

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
 ■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	注意 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。
禁止 してはいけない内容です。	必ず守る 実行しなければならない内容です。

警告	必ず守る
<p>仕様変更・改造は絶対にしない 火災・感電・けがの原因になります。</p> <p>指定穴以外へねじを固定しない 内部の配線を傷つけ、感電するおそれがあります。</p> <p>指定以外のねじを使用しない 内部の配線を傷つけ、感電するおそれがあります。</p> <p>電源コード、電源プラグを破損するようなことはしない (傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、引っ張ったりしない) 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。</p> <p>D種接地工事をおこなう 故障や漏電のときに感電するおそれがあります。</p> <p>排気工事をおこなう場合、建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って、取付設置する 火災など重大な事故の原因になります。</p> <p>a.c.100Vで使用する 火災・感電の原因になります。</p>	<p>レンジフード本体と排気ダクトは、可燃物との間を10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆う 火災などの原因になります。詳しくは所轄の消防署（庁）に問い合わせてください。</p> <p>メタルラス、ワイヤラス、または金属板張りの木造建築物に金属製排気ダクトを貫通する場合、メタルラス、ワイヤラス、金属板と接触しないように取り付ける 漏電した場合、火災の原因になります。</p> <p>電源プラグは根元まで確実に差し込む 差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因になります。 ●傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。</p> <p>電源コードはアダプター、排気ダクトと離して固定する 火災など重大な事故の原因になります。詳しくは所轄の消防署（庁）に問い合わせてください。</p> <p>給気電動シャッター運動用コード、電動シャッター運動用コードはアダプター、排気ダクトと離して固定する 火災など重大な事故の原因になります。詳しくは所轄の消防署（庁）に問い合わせてください。</p>

注意	必ず守る
<p>本体は、十分強度のあるところに水平にしっかり取り付け、強度不足の場合には補強する 落下により、けがをするおそれがあります。</p> <p>取り付け工事の際は、厚手の手袋を使用する 板金部品などの切り口や本体の突起、角などでけがをすることがあります。</p> <p>取付金具やねじは付属のものを使用する 落下により、けがをするおそれがあります。</p> <p>部品は確実に取り付ける 落下により、けがをするおそれがあります。</p>	<p>配線工事は、電気設備技術基準や内線規程に従って、必ず電気工事が確実にこなす 誤った配線工事、ねじり配線や電線のかみこみなどがあると漏電、感電や火災のおそれがあります。</p> <p>本体は指定の方法で確実に取り付ける 落下により、けがをするおそれがあります。</p> <p>接続するシャッターはそれぞれ5W以下のものを使用する 火災の原因になります。</p>

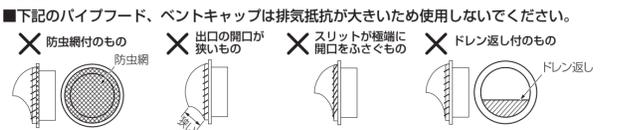
設置上のお願い

取り付け場所について

- ガス調理機器、IH調理機器の真上、80cm以上*の位置に取り付けてください。
火災予防条例ではフィルターの下端がガス調理機器、IH調理機器の真上80cm以上必要です。
 (取り付け位置が高すぎると吸い込みが悪くなります)
 ※防火性能評定品のガス調理機器または特定安全IH調理器適合品のIH調理機器との組み合わせにおいてのみ、600～799 (mm) で設置することが可能です。
- エアコンなどによる横風のあたる場所には取り付けしないでください。
横風の影を受けると吸い込みが悪くなる場合があります。
- ガス湯沸かし器は側方に離して取り付けください。
高温により故障の原因になります。

ご使用部品について

- パイプフード、ベントキャップは、排気抵抗の小さいもの（排気ダクト直管長さ25m相当以下）をご使用ください。
別売品の一覧をご確認ください。



施工について

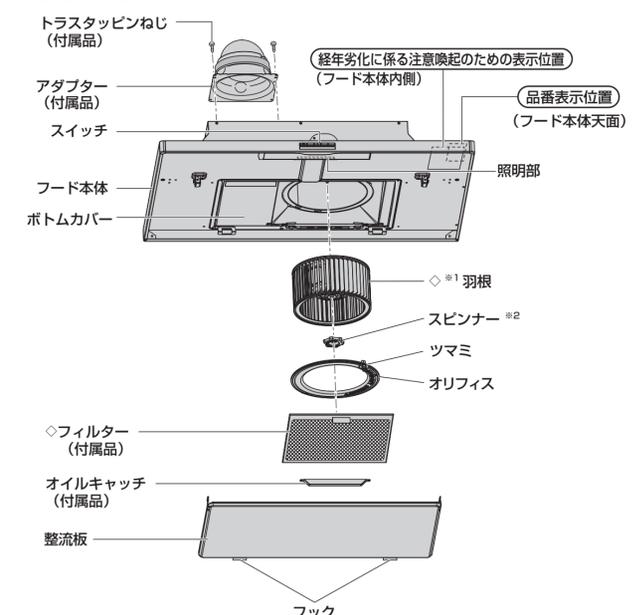
- 羽根を外した状態でモーターを回転させないでください。
回転数が上がり、モーターが焼きつくことがあります。
- 羽根の回転バランスをとるためにパランサー（重り）が付いている場合がありますが、絶対に外さないようにしてください。
異常や故障の原因になります。
 ※パランサーが外れた場合は、必ず修理を依頼してください。
- 全体換気の必要などところは、他の換気扇との併用をおすすめします。
- 空気の取り入れ口（給気口）を設けてください。
(開口面積100～150cm²が目安となります)
 給気電動シャッターを使わない場合は排気性能確保のため、空気の取り入れ口を設けてください。
- 次のような配管工事はしないでください。
(吐出口のすぐそばで曲げると、シャッターが開かなくなり正しく排気されません)
 (1)極端な曲げ (2)吐出口のすぐそば (3)多数回の曲げ (4)接続ダクト径を小さくする



各部の名前

品番および経年劣化に係る注意喚起のための表示位置

イラストは左吐出仕様を示しています。右吐出仕様は、左右対称です。



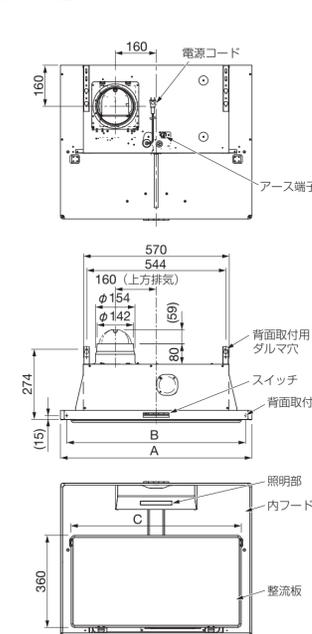
- ◇印 はつ油塗装
- ※1 羽根のはつ油塗装はワンタッチ式ファンタイプの機種のみ。
- ※2 スピナーはスピナー式ファンタイプの機種のみ。

お願い
 塗装部分に直接触ると指がつかうことがあります。取付設置の際は、手袋の着用をお願いします。

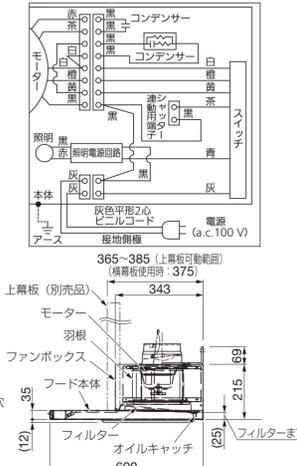
外形寸法図・結線図

本図は左吐出仕様を示しています。右吐出仕様の場合は、左右対称です。(単位：mm)

■外形寸法図



■結線図



■接続ダクト（市販品）

呼び径	種	類				
φ150 (6番)	鋼板製スパイラルダクト					
吐出	品番	A	B	C	質量(kg)	
	S43CHZ1ML	600	550	516	12	
	E43CHZ1ML					
	S43CHZ2ML	750	700	666	13	
	E43CHZ2ML					
左吐出	品番	A	B	C	質量(kg)	
	S43CHZ1MR	600	550	516	12	
	E43CHZ1MR					
	S43CHZ2MR	750	700	666	13	
	E43CHZ2MR					
右吐出	品番	A	B	C	質量(kg)	
	S43CHZ1MR	600	550	516	12	
	E43CHZ1MR					
	S43CHZ2MR	750	700	666	13	
	E43CHZ2MR					
左吐出	品番	A	B	C	質量(kg)	
	S45CHZ2ML	750	700	666	13	
	W45CHZ2ML					
	S43CHZ3ML	900	850	666	13.5	
	E43CHZ3ML					
右吐出	品番	A	B	C	質量(kg)	
	S45CHZ2MR	750	700	666	13	
	W45CHZ2MR					
	S43CHZ3MR	900	850	666	13.5	
	E43CHZ3MR					

付属品・別売品

お願い この製品専用の付属品あるいは指定のもの（別売品）以外は使用しないでください。

付属品		お願い	
●バックিংテープ……………	1個	●フィルター……………	1個
●トラスタッピンねじ (φ4×8) ……	2個	(フード本体に取り付けられています)	
●トラスタッピンねじ (φ4×40) ……	4個	●アダプター……………	1個
(本体固定用)		●取付金具……………	2個
●トラスタッピンねじ (φ5×8) ……	4個	●常時換気お願いらベル……………	1枚
(取付金具固定用)		(ねじと同様)	
●オイルキャッチ……………	1個		
(フード本体に取り付けられています)			

別売品

(L型ダクト)	(L型ダクト)	(L型ダクト)	(L型ダクト)
08AHKS7	08AHKS2	09AH3P	
(同時給排掃板)	(同時給排掃板)	(同時給排掃板)	(同時給排掃板)
S43CHDM605 S43CHDM905	S43CHDM606 S43CHDM906	S43CHDM607 S43CHDM907	S43CHDM755 W43CHDM907
(取付金具)	(取付金具)	(取付金具)	(取付金具)
E43AH4P60 E43AH4P75	E43AH4P90 E43AH4P90	E43AH4P75 E43AH4P75	E43AH4P90 E43AH4P90

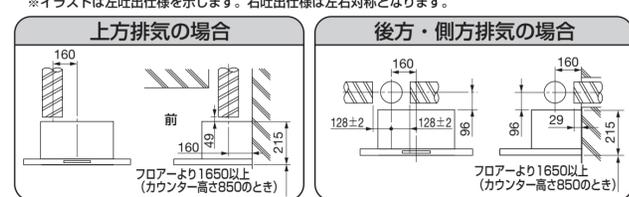
事前準備ください
 ●鋼板製スパイラルダクト (φ150) ●アルミテープ ●補強材 (現場により必要です)

取付設置前に

イラストは左吐出仕様を示しています。右吐出仕様は、左右対称です。(単位：mm)

- フード本体取り付け用材工事
 1. フード本体の取り付け用材は下図のように固定します。
550:600幅フードの場合
 700:750幅フードの場合
 850:900幅フードの場合
- 取り付け用材は厚み30mm×幅90mm程度の補強材（できれば防虫処理したもの）を使用してください。
- レンジフードの質量は、600幅……12kg
 750幅……13kg
 900幅……13.5kgです。
- 十分耐える取り付けをしてください。しっかり取り付けられていないと、騒音、振動の原因になります。
- フード本体は、水準器を使用して水平 (0.5度以下) に取り付けてください。傾いて取り付けますと、オイルキャッチに油がたまらないおそれがあります。

- ダクト配管について
 1. 製品外形寸法図、または下図の吐出位置を参考に壁穴をあけてください。
- 上方排気の場合は、φ150のダクトを下図のような位置にセットして周囲を仕上げてください。側方排気の場合は、L型ダクトを組み合わせたアダプターの位置にφ150のダクトをセットして周囲を仕上げてください。



- 後方排気の場合は、下記数値以上の壁厚のところに本体を取り付けてください。
 防火ダンパー付きパイプフード使用時 190mm 以上
 防火ダンパー無しパイプフード使用時 110mm 以上
- 使用するパイプフードによって数値が異なりますので、パイプフードのみ込み寸法を確認してください。
 上記数値のパイプフードのみ込み寸法は、下記の通りです。
 防火ダンパー付き：75mm
 防火ダンパー無し：55mm
- 壁厚が上記寸法未満の場合、アダプターのシャッターがパイプフードにあたり、完全に開かないことがあります。

3.電気工事について

- ※電気工事は電気工事業者に依頼ください。
- 1. 電気工事のご注意
 ●本機はa.c.100V仕様です。
 ●本体を設置する場所の、図の位置にアースターミナル付きコンセントを設置してください。
 ●アース工事を必ずおこなってください。
 ●屋内配線が正しいか極性確認をおこなってください。形状によっては使用できないコンセントがあります。下記をご確認ください。
- 2. 漏電遮断器の設置について
 漏電事故時安全確保のために、漏電遮断器の設置をしてください。



4.開梱の際は

- 本体に取り付いている包装材（ダンボール、テープ）を必ず取り外してください。
 ※フード本体前面（スイッチ操作面）の保護シートは取り外さないでください。
- 右図のように正しい置きかたをしてください。
 ※誤った置きかたをしますと傷や破損の原因になります。
 ※養生シートを敷くなど、傷つき防止をお願いします。
 ※フード本体前面にあるスイッチ部の取り扱いは特に注意してください。

裏面につづきます

取付設置方法

イラストは左吐仕様を示しています。
右吐仕様は、左右対称です。

(単位: mm)

●お願い ●インパクトドライバーなどを使わず、手回しドライバーにてねじをしっかり締め付けてください。
目安としてトルク2N・m (0.2kgf・m) 以下で締め付けてください。

1. 整流板・フィルター・オイルキャッチを外す

●お願い ●フード本体前面の保護シートは取付設置完了まで取り外さないでください。
取外し難い場合、設置後に保護シートが外れに響く場合があるなど、設置後に保護シートが外れに響く場合は、事前に保護シートの位置を調整してください。
傷つき防止のため、必ず養生シートの上で作業してください。



①整流板を固定している左右のストッパーを指で押し込む。



②整流板をゆっくり下げ、整流板を外す。



③フィルターの取っ手を手前に引いてフィルターを外す。



④オイルキャッチの右側のツメを外し、左側のツメを外す。



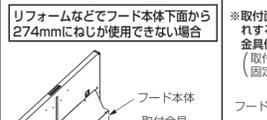
※左右の溝の構造が異なります。順番を外してください。

2. フード本体の取り付け

①取付金具(2個)をフード本体にトラスタッピンねじ(4個)で固定する。



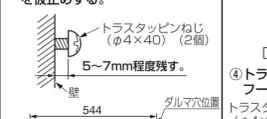
②フード本体に固定した取付金具のタルマ穴を仮止めたトラスタッピンねじ(2個)に引っ掛け、締め付ける。



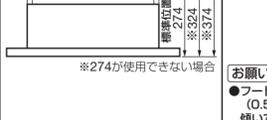
※取付面の仕上がりでフード本体が前倒れする場合は、取付金具の長穴で取付金具位置を調整してください。
(取付金具の長穴はフード本体に固定する。固定する場合のみ調整可能です。)



②裏面の「取付位置」を参考に設置位置を決め、背面取付用タルマ穴位置にトラスタッピンねじ(2個)を仮止めます。



④トラスタッピンねじ(2個)でフード本体を固定する。



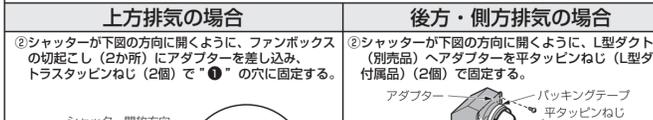
●お願い ●フード本体は水準器を使用して水平(0.5度以下)に取り付けてください。
傾いて取り付くと、オイルキャッチに油がたまらないおそれがあります。



3. アダプターの取り付け

●お願い ●電動シャッター(別売品)を取り付ける場合は右下の「電動シャッター(別売品)の取り付け」を参照してください。

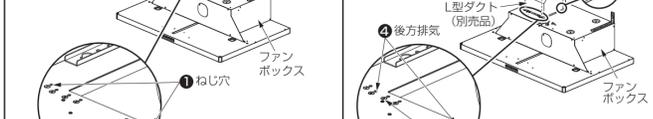
①アダプターを準備する。
バックリングテープ(ダクト接続用)(付属品)を貼り付ける。



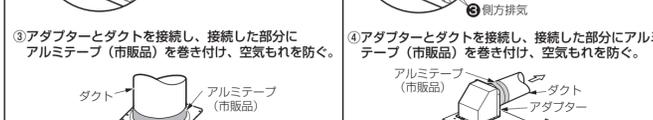
②シャッターが下図の方向に開くように、ファンボックスの切起こし(2か所)にアダプターを平タッピンねじ(L型ダクト付属品)(2個)で固定する。



③L型ダクト(別売品)をファンボックスの切起こし(2か所)に差し込み、トラスタッピンねじ(2個)で指定の穴に固定する。



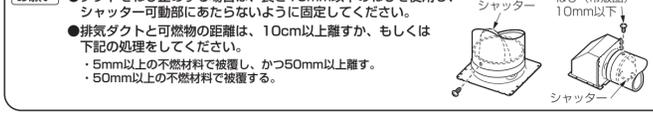
④アダプターとダクトを接続し、接続した部分にアルミテープ(市販品)を巻き付け、空気もれを防ぐ。



●お願い ●ダクトをねじ止める場合は、長さ10mm以下のねじを使用し、シャッター可動部にあたらないように固定してください。

●排気ダクトと可燃物の距離は、10cm以上離すか、もしくは下記の処理をしてください。

- ・5mm以上の不燃材料で被覆し、かつ50mm以上離す。
- ・50mm以上の不燃材料で被覆する。



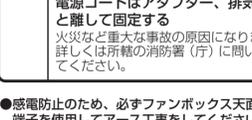
4. 電源の接続

⚠️ 警告 ⚠️

D種接地工事をおこなう
故障や雷電のときに感電するおそれがあります。

電源プラグは根本まで確実に差し込み
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

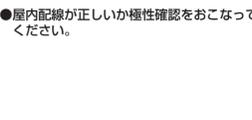
●電源プラグをコンセントに差し込みます。



●電源プラグをコンセントに差し込みます。



●屋内配線が正しいか極性確認をおこなってください。



●感電防止のため、必ずファンボックス天面のアース端子を使用してアース工事をしてください。



●電源プラグをコンセントに差し込みます。

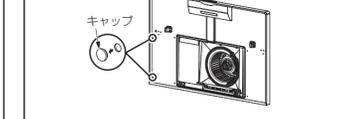


5. 上幕板(鋼板製)を取り付ける場合

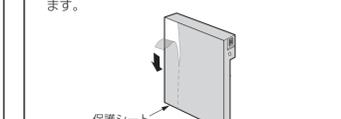
横幕板(鋼板製)の取り付け

横幕板を取り付けない場合は、以下の手順は不要です。

①横幕板取り付け側のキャップを外す。



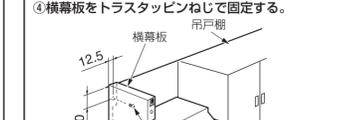
②横幕板の表面に貼っているフィルム状の保護シートをはがす。



③横幕板の角穴にラッチを取り付ける。



④横幕板をトラスタッピンねじで固定する。

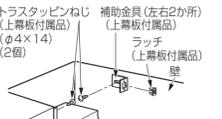


上幕板(鋼板製)の取り付け

①キャップを外す。



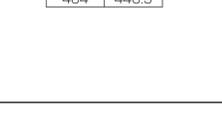
②補助金具にラッチを取り付け、左右の吊戸棚または壁にトラスタッピンねじで固定する。
(補助金具取付位置とフード本体側の側面を合わせて取り付ける。)



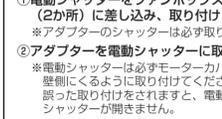
③上幕板表面の角穴にストライクを取り付ける。(ストライクは縦向きに取付ける)



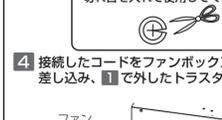
④上幕板表面の角穴にストライクを取り付ける。(ストライクは縦向きに取付ける)



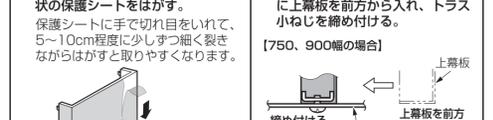
⑤フード本体側より上幕板固定金具(2個)を仮止めし、上幕板の上部のストライクをラッチにはめる。
(「パチン」と音がするまで)



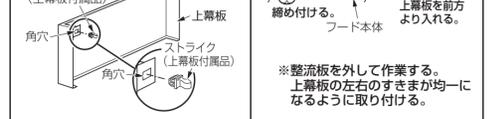
⑥上幕板固定金具とフード天面の間に上幕板を前方より入れ、トラス小ねじを締め付ける。



⑦上幕板の表面に貼っているフィルム状の保護シートをはがす。
保護シートに手で切れ目をいれて、5~10cm程度に少しずつ細く裂きながらはがすと取りやすくなります。

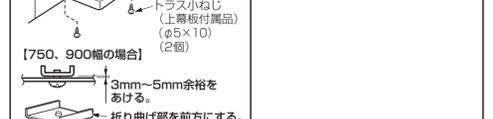


⑧上幕板の表面に貼っているフィルム状の保護シートをはがす。
保護シートに手で切れ目をいれて、5~10cm程度に少しずつ細く裂きながらはがすと取りやすくなります。



●お願い ●指定穴以外へねじを固定しない
内部の配線を傷つけ、感電するおそれがあります。

●お願い ●指定以外のねじを使用しない
内部の配線を傷つけ、感電するおそれがあります。

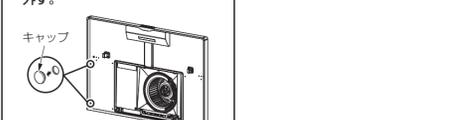


6. 上幕板(化粧扉)を取り付ける場合

横幕板(化粧扉用)の取り付け

横幕板を取り付けない場合は、以下の手順は不要です。

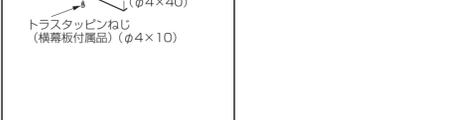
①横幕板取り付け側のキャップを外す。



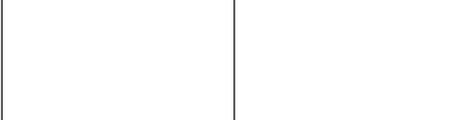
②横幕板をトラスタッピンねじで固定する。



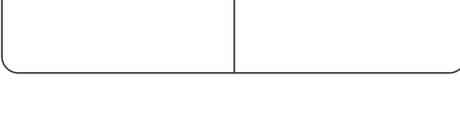
③上幕板(化粧扉)の取り付け



●お願い ●上幕板(化粧扉)の取り付けは、必ず「取付位置」を参考にしてください。



●お願い ●上幕板(化粧扉)の取り付けは、必ず「取付位置」を参考にしてください。

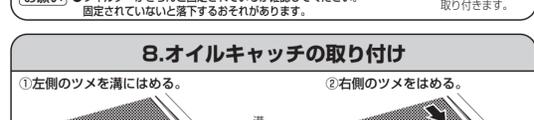


7. フィルターの取り付け

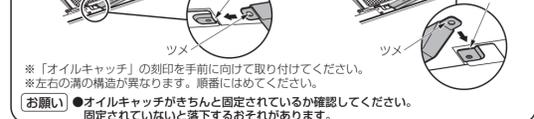
①フィルターの取っ手をもち、ボトムカバーの奥側に差し入れる。



②押し上げてはめる。



●お願い ●フィルターがきちんと固定されているか確認してください。



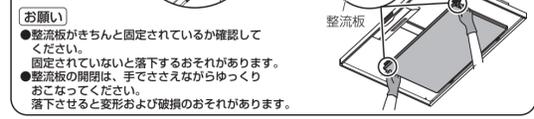
●お願い ●フィルターがきちんと固定されているか確認してください。



●お願い ●フィルターがきちんと固定されているか確認してください。



●お願い ●フィルターがきちんと固定されているか確認してください。



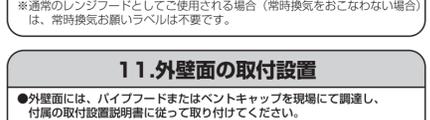
●お願い ●フィルターがきちんと固定されているか確認してください。

10. 常時換気お願いラベルの貼り付け

①フード本体前面の保護シートを外す。



②このレンジフードを常時換気設備として使用する場合は、常時換気お願いラベルをスイッチ付近に貼り付けます。



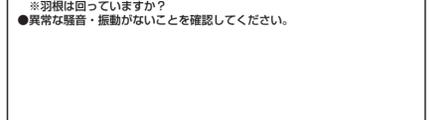
●お願い ●常時換気お願いラベルはねじと同様です。



●お願い ●常時換気お願いラベルはねじと同様です。



●お願い ●常時換気お願いラベルはねじと同様です。



●お願い ●常時換気お願いラベルはねじと同様です。



●お願い ●常時換気お願いラベルはねじと同様です。

電動シャッター(別売品)の取り付け

本フードには、運転運動させてシャッターを開閉することができる運動用信号線が付いています。

運転モード	常時	弱	強
運動用信号線出力	a.c.100V	a.c.100V	a.c.100V

●接続は「電気設備技術基準」や「内線規程」に従って、確実に接続してください。

●電動シャッターの取付位置は機器に付属の取付位置説明書にもつき確認をおこなってください。

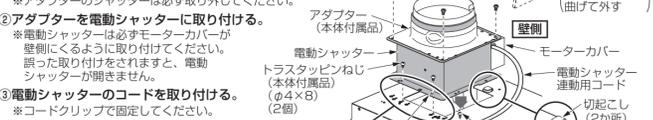
①ファンボックスの電動シャッター取付穴のアルミテープをはがす。



②電動シャッターのコードをファンボックス内部に納め、避け板のツメを差し込み穴に差し込み、外したトラスタッピンねじで固定する。



●お願い ●電動シャッターのコードは必ずファンボックス内部に納め、避け板のツメを差し込み穴に差し込み、外したトラスタッピンねじで固定してください。



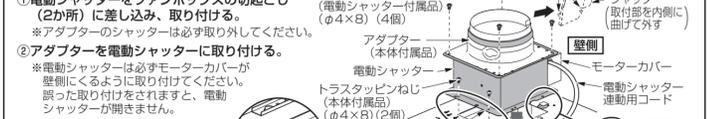
●お願い ●電動シャッターのコードは必ずファンボックス内部に納め、避け板のツメを差し込み穴に差し込み、外したトラスタッピンねじで固定してください。



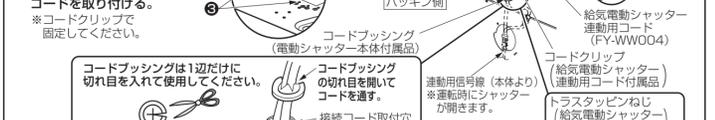
●お願い ●電動シャッターのコードは必ずファンボックス内部に納め、避け板のツメを差し込み穴に差し込み、外したトラスタッピンねじで固定してください。

給気電動シャッターと電動シャッターの両方を取り付ける場合

①電動シャッターをファンボックスの切起こし(2か所)に差し込み、取り付ける。



②アダプターを電動シャッターに取り付ける。



③給気電動シャッター-電動コードと電動シャッター-電動コードのコードを取り付ける。



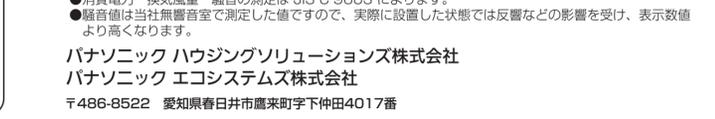
④接続したコードをファンボックス内部に納め、避け板のツメを差し込み穴に差し込み、外したトラスタッピンねじで固定する。



●お願い ●電動シャッターのコードは必ずファンボックス内部に納め、避け板のツメを差し込み穴に差し込み、外したトラスタッピンねじで固定してください。



●お願い ●電動シャッターのコードは必ずファンボックス内部に納め、避け板のツメを差し込み穴に差し込み、外したトラスタッピンねじで固定してください。



●お願い ●電動シャッターのコードは必ずファンボックス内部に納め、避け板のツメを差し込み穴に差し込み、外したトラスタッピンねじで固定してください。

仕様

吐出口	品番	質量(kg)	吐出口	品番	質量(kg)	定格	風量調節	消費電力(W)	換気風量(m³/h)	騒音(dB)
左吐	S43CHZ1ML	12	右吐	S43CHZ1MR	12	a.c.100V 50/60Hz	強	88/100	524/502	45.5/45
	E43CHZ1ML			E43CHZ1MR						
	S43CHZ2ML			S43CHZ2MR						
	E43CHZ2ML			E43CHZ2MR						
	S45CHZ2ML			S45CHZ2MR						
	E45CHZ2ML			E45CHZ2MR						
右吐	S43CHZ3ML	13.5	右吐	S43CHZ3MR	13.5		弱	49/52	322/298	34.5/33
	E43CHZ3ML			E43CHZ3MR						
	S45CHZ3ML			S45CHZ3MR						
	E45CHZ3ML			E45CHZ3MR						
	W45CHZ3ML			W45CHZ3MR						

- 上記仕様は静圧0Pa(パスカル)時の値です。
- 静圧0Pa(パスカル)とは、レンジフードにおよぼす圧力が「0(ゼロ)」の状態を示します。
- レンジフードに使用している部品は、性能向上のために予告なしに一部変更することがあります。
- 消費電力・換気風量・騒音の測定は、JIS C 9603によります。
- 騒音値は当社無音室で測定した値ですので、実際に設置した状態では反響などの影響を受け、表示数値より高くなります。

パナソニック ハウジングソリューションズ株式会社
パナソニック エコシステムズ株式会社

〒486-8522 愛知県春日井市藤来町字中田4017番